

集団指導において重要なことは安全管理を第1とし、次いで効率のよい指導内容を行うということである。

安全管理として、最も重要なのが人数確認である。「バディシステム」等で効率よく人数確認を行なう。また、レッスン中に集団で泳がせる場合には列を作り、一定の間隔を空けて順次泳ぎ出すようにするが、泳力のある順番に出るようにすると前後の者同士がぶつかることが避けられる。

集団を指導する際に言葉による説明ではポイントを絞り、1つのポイントが集団全体である程度できたら次のポイントを説明するといったように徐々に積み上げていく方が効率のよい指導につながる。また、実際に泳ぎの示範を見せることで泳者に分かりやすく伝えることができる。その際に大事なことは対象となる泳者のレベルに応じた示範を行なうということである。

私は、集団指導経験の中で、出来る限り泳者に対して死角を作らずに指導を行う重要性を学んだ。どうしたら事故を防げるか、常に危機意識を持って集団指導を行っていたい。